

## 1. 化学品及び会社情報

化学物質等の名称: **CES ベースコート PU**

会社名: 中央樹脂ケミカル株式会社

住所: 東京都台東区鳥越1-29-6

電話番号: 03-3851-2324

推奨用途及び使用上の制限: 皮革用仕上剤  
所定の用途以外には使用しないこと。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性: 分類できない

健康に対する有害性: 分類できない

環境に対する有害性: 分類できない

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関する上記以外の各項目は、現時点で「分類対象外」「分類できない」又は「区分外」である。

### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル: なし

注意喚起語: なし

危険有害性情報: なし

注意書き: **【安全対策】**個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。  
**【応急措置】**飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。  
**【保管】**容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。  
**【廃棄】**内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報: 国内法で規定のある場合、並びに、地域で規定のある場合はその規定に従う。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名: 水性撥水剤

化学式: 特定できない

主な成分: 表示該当物質なし  
ウレタン樹脂 防腐剤 界面活性剤

CAS 番号: 登録済みの成分を使用

官報公示整理番号(化審法・安衛法): 登録済みの成分を使用

濃度又は濃度範囲： 22%

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合は速やかに医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。必要ならば医師の診察を受ける。
- 目に入った場合： 直ちに多量の流水で 15 分間以上洗い流す。目の刺激が続く場合は速やかに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合： 水で口の中を洗い、直ちに医師の診察を受ける。吐物や泡が気管にはいと肺炎をおこす可能性があるため、無理に吐かせない。また、自然に嘔吐が生じた場合は、吐物を吸入しないように注意する。嘔吐や下痢の症状があるときや、様子がおかしい場合は医師に相談する。
- 予想される急性症状及び遅発性症状： 情報なし
- 最も重要な兆候及び症状： 情報なし

#### 5. 火災時の措置

- 本製品は不燃性であるが、加熱した場合、着火源があると燃える事がある。
- 消火剤： 水、粉末、二酸化炭素、泡
- 大規模火災： 大型泡沫消火器が有効である。
- 周辺火災： 可能なかぎり容器は安全な場所に移動する。
- 特定の消火方法： 危険でなければ火災区域から製品を移動する。移動できない場合は容器および周囲に散水して冷却する。消火作業は可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護： 適切な保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 作業者は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用し、風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項： 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- 回収、中和： 少量の場合、ウエス等で拭き取る。多量の場合、漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立ち入りを禁止する。土砂、土のう等で流出を防止し、空容器などに回収する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策： 特別な対策は必要ない。
- 安全取り扱い注意事項： 取扱いは、換気の良い所で行う。取扱い中は、皮膚に触れないように注意し、必要に応じて保護具を着用する。取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行う。

## 保管

保管条件： 温度が2～30℃の冷暗所を定めて保管する。  
また、使用後は密封する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：

作業環境評価基準 未設定

許容濃度

日本産業衛生学会勧告値 なし

ACGIH なし

設備対策： 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 保護具

呼吸器系の保護具： 臭気が気になる場合は脱臭効果のあるマスク着用

手の保護具： 労働衛生保護手袋

目の保護具： 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣、必要に応じ保護服及び保護長靴を着用する。

衛生対策： 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 乳白色エマルション

臭い： ほぼ無臭

pH： 7.5～8.5

融点： 約0℃

沸点： 約100℃

引火点、発火点： なし

爆発範囲： なし

密度： 1.02～1.04 g/cm<sup>3</sup>(25℃、原液)

溶解度： 水に易溶

蒸発速度： データなし

粘度： 10mPa・s 以下(25℃)

屈折率： データなし

比熱： データなし

熱伝導度： データなし

分子量： データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の実験条件においては安定

発火性： 通常の実験条件ではなし

可燃性： 加熱などにより着火源があると燃える

混触危険物質： 強酸化剤、過酸化物質、カチオンエマルション

危険有害な分解生成物： 燃焼などにより一酸化炭素等の有害ガスを発生する恐れがある

## 11. 有害性情報

急性毒性:	データなし
皮膚腐食性・刺激性:	データなし
眼刺激性:	データなし

## 12. 環境影響情報

水性環境有害性:	データなし
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに依託して処理する。焼却処理をする場合には、珪藻土、布等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却すること。排水処理をする場合には、凝集沈殿、活性汚泥処理等の廃水処理により、法律及び関係する法規の規制値以下にして河川等に排水する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分をおこなう。空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

国連分類:	なし
海上規制情報:	IMOの規定に従う
航空規制情報:	ICAO/IATAの規定に従う
UN No. :	なし

### 国内規制

陸上規制情報:	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報:	船舶安全法に定めるところに従うこと。
海洋汚染物質:	非該当
航空規制情報:	航空法に定めるところに従うこと。
特別の安全対策:	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行うこと。

## 15. 適用法令

消防法:	該当しない
毒劇法:	該当しない
安衛法:	該当しない
化管法:	該当しない

## 16. その他の情報

引用資料

参考文献:JIS Z7253:2012

:「化審法化学物質改訂第7版」化学工業日報社

:「新化学インデックス」化学工業日報社

:「化学品別適用法規総覧」化学工業日報社

:「化学物質等法規制便覧」化学工業日報社

:「16112 の化学商品」化学工業日報社 2012 年

否認事項

本データシートは、危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには充分注意してください。

追加情報

注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いには、この点のご配慮をお願いします。全ての化学品には未知の危険性、有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。